

丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略  
効果検証結果

数値目標の効果検証・重要業績評価指標（KPI）ごとの効果検証		P1
基本目標 1	魅力的なしごとを創造する	P2～P4
基本目標 2	交流人口を増やす	P5～P7
基本目標 3	市民みんなで子育てを応援する	P8～P10
基本目標 4	元気な地域をつくる	P11～P13

【重要業績評価指標（KPI）ごとの効果検証】

基本目標 1～4 に掲げる各施策の122項目の重要業績評価指標（KPI）について、目標達成に向けた進捗状況を3段階で評価しました。

基本目標	達成	概ね達成	未達成	計	実績値なし
基本目標 1 魅力的なしごとを創造する	14	3	15	32	5
	43.7%	9.4%	46.9%	100.0%	-
	53.1%				
基本目標 2 交流人口を増やす	15	4	3	22	5
	68.2%	18.2%	13.6%	100.0%	-
	86.4%				
基本目標 3 市民みんなで子育てを応援する	6	7	18	31	7
	19.3%	22.6%	58.1%	100.0%	-
	41.9%				
基本目標 4 元気な地域をつくる	9	3	3	15	7
	60.0%	20.0%	20.0%	100.0%	-
	80.0%				

【数値目標の効果検証】

基本目標 1～4 に掲げる数値目標について実績値を基に達成度を3段階で評価しました。

基本目標	数値目標	基準年の数値	成果数値	達成度	数値目標
基本目標 1 魅力的なしごとを創造する	「年齢や性別を問わず、働きやすい環境が整っていると思う」市民の割合	H27	H28	○	H31
		18.1%	14.70%		増加
	チャレンジカフェを通じた新規起業件数	H26	H28	△	H31 20件/年
基本目標 2 交流人口を増やす	相談窓口を利用して移住した転入者数	H26	H28	△	H31
		11人/年	23人/年		36人/年
	観光入込客数	H26	H28	○	H31 3,000千人/年
基本目標 3 市民みんなで子育てを応援する	出生数	H26	H28	○	H31
		495人/年	464人/年		520人/年
	「地域全体で子育てを支えている」と感じている市民の割合	H26	H28	△	H31 増加
基本目標 4 元気な地域をつくる	「日々のしごと（農作業・家事・育児等含む）にやりがいや充実感がある」と感じている市民の割合	H27	H28	◎	H31
		60.6%	63.80%		増加
	「自治会・小学校区は、地域活動が活発化している」と感じている市民の割合	H26	H28	◎	H31 増加
		36.7%	40.90%		増加

【達成度】◎達成（目標値以上）、○概ね達成（目標値の80%以上100%未満）、△未達成（80%未満）、-実績値なし（当該年度の実績値なし）

## 基本目標 1 魅力的なしごとを創造する

～ 丹波ブランドを活かした産業の創造・継承と、活躍人口を生み出す創造的なしごとをつくる ～

○農林業をはじめとする地域資源を活かした産業の振興に重点的に取り組み、その分野での雇用の増加を図る。既存の企業における雇用についても、的確な情報発信やしごとの内容ややりがい等について知る機会を設け、より多くのマッチングを行うとともに、起業を志す若者らの支援を実現する。また、平成28年9月の「丹波市中小企業・小規模企業振興基本条例」の制定を受けて、地域産業、地域経済の発展を促すための施策の充実を図る。

### 【基本目標の重要目標達成指標】

数値目標	項目	基準年の数値		中間KPI			目標値
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
「年齢や性別を問わず、働きやすい環境が整っていると思う」市民の割合	数値目標	-	-	増加	増加	増加	増加
	成果数値	-	18.10%	14.70%			
	達成度	-	-	△			
チャレンジカフェを通じた新規起業件数	数値目標	-	20件/年	20件/年	20件/年	20件/年	20件/年
	成果数値	18件	13件/年	14件/年			
	達成度	-	△	△			

【達成度】◎達成（目標値以上）、○概ね達成（目標値の80%以上100%未満）、△未達成（80%未満）、-実績値なし（当該年度の実績値なし）

### 【内部検証】

○基本目標の重要目標達成指標である「年齢や性別を問わず、働きやすい環境が整っていると思う」市民の割合、「チャレンジカフェを通じた新規起業件数」はどちらも目標値を下回っている。一人ひとりが持てる力を発揮し、将来の夢や目標に向かいステップアップできる環境を整備することが必要である。女性活躍推進事業等を展開し、職場におけるワークライフバランスや女性の活躍、誰もが生き生きと働ける職場の実現を目指す必要がある。また、チャレンジカフェの登録者数は、商工会との連携により、目標値を上回っているものの市場ニーズの反映や資金調達・販路面等の不安から新規起業には結びついていないものもあり、新規起業支援事業補助金等を活用した更なる起業件数の増加や、起業後のアフターフォローについても強化を図る必要がある。

○木の駅プロジェクトは各種講習会の実施や山の保全意識の向上により、プロジェクトの参加者数や薪ストーブ等の設置補助件数が増加している。原木の出荷量は、目標値を達成していないものの、着実に成果を上げつつあることから、引き続き取り組みを推進し、未利用材の利活用を図り、地域内循環の仕組みの強化を行う必要がある。

○農家の高齢化等により担い手不足や耕作放棄地の増加が課題となっている中で、県・市・JAが連携し新たな担い手としての認定新規就農者や女性農業者等に対し、栽培技術の指導や経営の安定、規模の拡大に繋がる支援を今後も継続することが大切である。

○ワンストップ窓口相談業務の委託や「住まいのバンク」の運営が軌道に乗ったことにより、相談件数は平成27年度に引き続き倍増したが、仕事情報サイトの成果が出ていない。平成29年度は同サイトの運営を窓口相談業務と一体的に委託することにより、民間事業者のネットワークとノウハウを活用し、サイトの充実と効果的な情報発信を進める必要がある。

○雇用関係では、市内企業の設備投資を伴う事業拡大により、新規雇用者の目標値を達成することができた。しかし、現在の高い有効求人倍率では、企業の求める人材の確保が難しい状況である。多様な雇用の場の確保と労働力の確保に向け、特色ある企業の誘致を推進し、ワークライフバランスや労働環境の改善に取り組む企業と連携し、さらに女性が活躍できる場が広がることを期待する。

### 【委員会コメント】

丹（まごころ）の里創生総合戦略進捗管理一覧（基本目標1：魅力的なしごとを創造する）

進捗管理シートNo.	事業名	施策の方向性	交付金の種類	施策の分類	決算額(千円)	事業における重要業績評価指標 (KPI)					今後の方向性
						指標名	単位	数値目標	成果数値	達成度	
1	木の駅プロジェクト	1-1. 地域資源を活かした農林業や環境調和型産業の活性化	地方創生先行型交付金(基礎交付)	1-1-(1). 自然エネルギーの推進	9,920	① 木の駅プロジェクトに参加した新規兼業農林家数	人	40	72	◎	A: 引き続き現状の取組を推進する
						② 薪ストーブ、ボイラーの設置補助件数	件	10	15	◎	
						③ 原木の集荷量	t/年	300	77.592	△	
						④					
2	木質バイオマス搬出支援事業	1-1. 地域資源を活かした農林業や環境調和型産業の活性化		1-1-(1). 自然エネルギーの推進	16,433	① 原木の集荷量	t/年	15600	15613	◎	D: 取組を縮小・中止する
						②					
						③					
						④					
3	認定新規就農者等支援事業	1-1. 地域資源を活かした農林業や環境調和型産業の活性化	地方創生先行型交付金(基礎交付)	1-1-(2). 農業の担い手づくり	4,090	① 認定新規就農者数(新規計画認定分)	人/年	2	7	◎	A: 引き続き現状の取組を推進する
						② 丹波地域就農支援センター相談者数	人/年	20	36	◎	
						③ 就農相談所(委託)相談件数	人/年	30	36	◎	
						④					
4	丹波市版「半農半公」事業	1-1. 地域資源を活かした農林業や環境調和型産業の活性化		1-1-(2). 農業の担い手づくり	1,095	① 「半農半公」職員数	人	2	2	◎	B: 全般的には推進し取組の一部を改善する
						②					
						③					
						④					
5	「農の学校」開設事業	1-1. 地域資源を活かした農林業や環境調和型産業の活性化		1-1-(2). 農業の担い手づくり	2,225	① 就農研修施設入学者数	人/年	-	-	-	A: 引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					
6	栗の生産量拡大支援	1-1. 地域資源を活かした農林業や環境調和型産業の活性化		1-1-(3). 農産物のブランド化	7,141	① 丹波栗の作付面積	ha/年	104	103	○	C: 取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討する
						②					
						③					
						④					
7	小豆の高収穫技術研修支援	1-1. 地域資源を活かした農林業や環境調和型産業の活性化		1-1-(3). 農産物のブランド化	4,039	① 丹波大納言小豆の作付面積	ha/年	320	322	◎	A: 引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					
8	人材としごとのマッチングの推進	1-2. 多様な働き方を支える仕組みづくりとしごとのマッチングの推進	地方創生先行型交付金(基礎交付)	1-2-(1). 人材としごとのマッチングの推進	11,962	① 相談窓口を利用して移住した世帯数(ファミリー層)	世帯/年	7	14	◎	B: 全般的には推進し取組の一部を改善する
						② 相談窓口を利用して移住した世帯数(田舎暮らしのしたい定年層)	世帯/年	4	1	△	
						③ ワンストップ相談件数	件/年	1400	1359	○	
						④ 仕事情報サイトを活用した就職者数	人/年	2	0	△	
9	女性有資格者福祉等人材バンク	1-2. 多様な働き方を支える仕組みづくりとしごとのマッチングの推進		1-2-(1). 人材としごとのマッチングの推進	0	① 登録者就職数	件/年	-	-	-	A: 引き続き現状の取組を推進する
						② 市内協力福祉事業所数	か所	-	-	-	
						③					
						④					
10	雇用奨励金事業	1-2. 多様な働き方を支える仕組みづくりとしごとのマッチングの推進	地方創生先行型交付金(基礎交付)	1-2-(2). 雇用促進・企業誘致	5,000	① 新規雇用者	人/年	10	10	◎	A: 引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					
11	雇用対策補助事業	1-2. 多様な働き方を支える仕組みづくりとしごとのマッチングの推進	地方創生先行型交付金(基礎交付)	1-2-(2). 雇用促進・企業誘致	17,980	① 教育訓練等を実施した事業者数(教育訓練)	社/年	150	104	△	B: 全般的には推進し取組の一部を改善する
						② 教育訓練等を実施した事業者数(社内研修)	社/年	40	25	△	
						③ 教育訓練等を実施した事業者数(女性従業員教育訓練)	社/年	75	39	△	
						④ 教育訓練等を実施した事業者数(健康診断)	社/年	280	312	◎	
12	中小企業支援事業(丹波市融資制度、設備投資支援事業、地域資源活用促進事業、商工業地域活性化事業、商工業事業補助、地域工場・中小企業等省エネルギー省エネルギー導入支援事業補助金)	1-2. 多様な働き方を支える仕組みづくりとしごとのマッチングの推進		1-2-(2). 雇用促進・企業誘致	593,213	① 新規加入会員数	件/年	60	81	◎	B: 全般的には推進し取組の一部を改善する
						② 設備投資支援事業補助金件数	件/年	180	213	◎	
						③ 中小企業制度融資利用件数	件/年	200	71	△	
						④					
13	新卒者の地元就職支援事業・合同就職フェア	1-2. 多様な働き方を支える仕組みづくりとしごとのマッチングの推進		1-2-(2). 雇用促進・企業誘致	1,579	① 新卒就職者数	人/年	110	87	○	A: 引き続き現状の取組を推進する
						② 合同就職フェアへの本市出身の参加者数	人/年	100	49	△	
						③					
						④					
14	企業立地奨励補助金事業	1-2. 多様な働き方を支える仕組みづくりとしごとのマッチングの推進		1-2-(2). 雇用促進・企業誘致	441,357	① 企業誘致件数	件/年	2	1	△	A: 引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					

丹（まごころ）の里創生総合戦略進捗管理一覧（基本目標1：魅力的なしごとを創造する）

進捗管理シートNo.	事業名	施策の方向性	交付金の種類	施策の分類	決算額(千円)	事業における重要業績評価指標 (KPI)					今後の方向性
						指標名	単位	数値目標	成果数値	達成度	
15	福祉人材確保奨学金返還支援補助金	1-2. 多様な働き方を支える仕組みづくりとしごとのマッチングの推進		1-2-(2). 雇用促進・企業誘致	0	① 奨学金返還制度を活用して福祉事業所等に就職した人数	人/年	-	-	-	A：引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					
16	大学就職支援連携協定	1-2. 多様な働き方を支える仕組みづくりとしごとのマッチングの推進		1-2-(3). 大学と連携した人材発掘	121	① 協定大学からの新卒就職者数（市内事業所）	名/年	40	10	△	B：全般的には推進し取組の一部を改善する
						② 就職連携協定大学から福祉事業所等に就職した人数（加算金対象）	人/年	-	-	-	
						③					
						④					
17	インターンシップ助成事業	1-2. 多様な働き方を支える仕組みづくりとしごとのマッチングの推進		1-2-(3). 大学と連携した人材発掘	25	① 市内企業でインターンシップを実施した学生数	人/年	30	1	△	B：全般的には推進し取組の一部を改善する
						②					
						③					
						④					
18	丹波市創業支援計画（たんばチャレンジカフェの運営）	1-3. 若者がスモールビジネスに挑戦できる環境づくり	地方創生先行型交付金（基礎交付）	1-3-(1). チャレンジが生まれる環境づくり	6,000	① チャレンジカフェを通じた新規起業件数	件/年	20	14	△	A：引き続き現状の取組を推進する
						② チャレンジカフェ登録者数	人/年	90	101	◎	
						③					
						④					
19	第2期丹波市中心市街地活性化基本計画	1-3. 若者がスモールビジネスに挑戦できる環境づくり		1-3-(1). チャレンジが生まれる環境づくり	10,591	① 中心市街地新規起業家数	件/年	2	0	△	A：引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					
20	新規起業支援事業補助金事業	1-3. 若者がスモールビジネスに挑戦できる環境づくり	地方創生先行型交付金（基礎交付）	1-3-(2). 起業支援	4,318	① 起業初年度に補助金を活用した新規起業件数	件/年	5	3	△	A：引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					
21	IT関連事業所振興支援事業補助金事業	1-3. 若者がスモールビジネスに挑戦できる環境づくり	地方創生先行型交付金（基礎交付）	1-3-(2). 起業支援	669	① 新規開設事業者数	件/年	3	1	△	A：引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					

達成度	
◎ 達成（目標値以上）	14
○ 概ね達成（目標値の80%以上100%未満）	3
△ 未達成（80%未満）	15
- 実績値なし（当該年度の実績値なし）	5
<b>合計</b>	<b>37</b>

今後の方向性	
A：引き続き現状の取組を推進する	13
B：全般的には推進し取組の一部を改善する	6
C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討する	1
D：取組を縮小・中止する	1
<b>合計</b>	<b>21</b>

## 基本目標2 交流人口を増やす

～ 「人」との出会いから地域の魅力を伝え、交流を促進し、移住・定住につなげる ～

○市制15周年の節目となる平成31年度（2019年度）を『丹波市元年』と位置付け、丹波市の魅力資源を総合的に生かし、市民の愛着と誇りを醸成するとともに、丹波市の対外的な認知度とイメージ向上を図るため、シティプロモーションに積極的に取り組みます。本市の伝統・文化・人々の営みをフル活用して「ワクワク・ドキドキするキャンペーン（仮称）」を市の総力をあげて展開する。また、移住相談窓口を併設する観光拠点の整備を行い、総合的な観光まちづくりの推進と本市を移住先の候補と考え訪れる人や、観光に訪れ本市のファンになる人などに、本市の魅力を確実に発信することで、交流から移住・定住へつなげる施策を展開していく。

### 【基本目標の重要目標達成指標】

数値目標	項目	基準年の数値		中間KPI			目標値
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
相談窓口を利用して移住した転入者数	数値目標	-	36人/年	36人/年	36人/年	36人/年	36人/年
	成果数値	11人/年	24人/年	23人/年			
	達成度	-	△	△			
観光入込客数	数値目標	2,300千人/年	2,167千人/年	2,200千人/年	2,233千人/年	2,266千人/年	3,000千人/年
	成果数値	1998千人/年	2,109千人/年	2,079千人/年			
	達成度	-	○	○			

【達成度】◎達成（目標値以上）、○概ね達成（目標値の80%以上100%未満）、△未達成（80%未満）、-実績値なし（当該年度の実績値なし）

### 【内部検証】

○相談窓口により移住した定年層世帯は目標値より低かったが、ファミリー層世帯は目標値を上回ったことから評価できる。また、ワンストップ相談の大幅な増加が移住に繋がっていないことから、新たに移住希望者と移住者、地域住民等を繋げる場を設置し移住者の定着を図る。

○観光入込客数は平成27年度と比べ減少したものの目標値を概ね達成することができた。平成29年度には、市の魅力を全国に売り込むべく、「シティプロモーション事業」を展開し、魅力発信や観光振興、交流人口の増加促進により、平成31年度の年間観光入込客数300万人を目指す。

○丹波スターコンテンツ活用事業では、三宝協議会の会員数が増加し、素材にこだわった魅力ある商品が充実したことにより、スイーツフェスティバルの参加者数が倍増し市内外へ広くPRが行えた。今後は、年間を通してPRし続けられるような情報発信に取り組む必要がある。

○自治会や移住者に対し、顔の見える環境を作り、安心して移住してもらえるような地道な活動や情報発信、ハローワークや大学、地域との連携により、空き家の成約数など着実に成果を上げている。さらに移住希望者のニーズや物件の掘り起こしにより、満足度を高められる取り組みを引き続き行う。

### 【委員会コメント】

丹（まごころ）の里創生総合戦略進捗管理一覧（基本目標2：交流人口を増やす）

進捗管理シートNo.	事業名	施策の方向性	交付金の種類	施策の分類	決算額(千円)	事業における重要業績評価指標 (KPI)					今後の方向性	
						指標名	単位	数値目標	成果数値	達成度		
22	シティプロモーションの推進	2-1. 地域資源を活かしたシティプロモーションの展開		2-1-(1). 地域資源を活かしたシティプロモーションの展開	0	①	年間観光入込客数	千人/年	2200	2079	○	A: 引き続き現状の取組を推進する
						②						
						③						
						④						
23	観光まちづくり拠点整備（観光DMO推進事業）	2-1. 地域資源を活かしたシティプロモーションの展開		2-1-(1). 地域資源を活かしたシティプロモーションの展開	0	①	年間観光入込客数	千人/年	2200	2079	○	A: 引き続き現状の取組を推進する
						②						
						③						
						④						
24	丹波電活用事業	2-1. 地域資源を活かしたシティプロモーションの展開		2-1-(1). 地域資源を活かしたシティプロモーションの展開	229, 537	①	丹波電化石工房来館者数	人/年	43000	50716	◎	A: 引き続き現状の取組を推進する
						②	化石発掘現場の来訪者数	人/年	25000	25347	◎	
						③						
						④						
25	丹波スターコンテンツ活用事業	2-1. 地域資源を活かしたシティプロモーションの展開	地方創生先行型交付金（基礎交付）	2-1-(1). 地域資源を活かしたシティプロモーションの展開	1, 084	①	スターコンテンツを活用した商品の開発数	品/年	2	2	◎	A: 引き続き現状の取組を推進する
						②	スイーツフェスティバル参加者数	人/年	増加	2500	◎	
						③	マスコミに取り上げられた回数	回/年	3	4	◎	
						④						
26	丹波市での暮らし体験事業（民泊・農家民宿支援事業）	2-1. 地域資源を活かしたシティプロモーションの展開		2-1-(1). 地域資源を活かしたシティプロモーションの展開	0	①	農家民宿等の開業数（許可営業）	件	10	6	△	B: 一般的には推進し取組の一部を改善する
						②						
						③						
						④						
27	ふるさと寄附金の推進	2-1. 地域資源を活かしたシティプロモーションの展開		2-1-(1). 地域資源を活かしたシティプロモーションの展開	487, 570	①	寄附件数	件/年	16000	14174	○	B: 一般的には推進し取組の一部を改善する
						②	寄附金額	千円/年	320000	322117	◎	
						③	記念品数	件	50	155	◎	
						④						
28	丹波市移住定住ガイド「TURN WAVE-丹波-」ウェブサイトによる情報発信	2-2. 大阪・東京圏に向けた情報発信の強化	地方創生先行型交付金（タイプI）	2-2-(1). 大阪・東京圏に向けた情報発信の強化	607	①	ホームページアクセス件数（ワンストップ）統合前	件/年	-	-	-	B: 一般的には推進し取組の一部を改善する
						②	ホームページアクセス件数（定住物語）統合前	件/年	-	-	-	
						③	ホームページアクセス件数（TURN WAVE-丹波-）統合後	件/年	50000	50524	◎	
						④						
29	田舎暮らし相談会の開催	2-2. 大阪・東京圏に向けた情報発信の強化	地方創生先行型交付金（タイプI）	2-2-(1). 大阪・東京圏に向けた情報発信の強化	314	①	移住・定住の相談件数	件/年	60	48	△	B: 一般的には推進し取組の一部を改善する
						②						
						③						
						④						
30	空き家バンク「住まいるバンク」・空き家利活用対策事業	2-3. 空き家を有効活用した移住・定住の推進	地方創生先行型交付金（基礎交付）	2-3-(1). 空き家活用促進	10, 171	①	住まいるバンクを通じた空き家の成約数	戸	8	25	◎	A: 引き続き現状の取組を推進する
						②	補助金を活用した空家戸数	戸	10	31	◎	
						③						
						④						
31	大学と地域住民連携による空き家再生活用モデル事業	2-3. 空き家を有効活用した移住・定住の推進	地方創生先行型交付金（タイプI）	2-3-(1). 空き家活用促進	0	①	イノベーションハウスに事務所やチャレンジショップを構えて事業を行う人数	人	3	9	◎	A: 引き続き現状の取組を推進する
						②	空き家の改修に関わる丹波市内外の有志（ボランティア）の延べ人数	人	-	-	-	
						③	イノベーションハウスの完成を記念したマーケット・交流イベントに参加する人数	人	-	-	-	
						④						
32	定住促進住宅	2-3. 空き家を有効活用した移住・定住の推進		2-3-(1). 空き家活用促進	9, 117	①	整備戸数	戸	2	3	◎	A: 引き続き現状の取組を推進する
						②						
						③						
						④						
33	丹の里田舎暮らしワンストップ相談業務「定住促進センターへ拡充（仮称）」	2-3. 空き家を有効活用した移住・定住の推進	地方創生先行型交付金（基礎交付）	2-3-(2). 移住・定住の促進	8, 367	①	相談窓口を利用して移住した世帯数（ファミリー層）	世帯/年	7	14	◎	B: 一般的には推進し取組の一部を改善する
						②	相談窓口を利用して移住した世帯数（田舎暮らしのしたい定年層）	世帯/年	4	1	△	
						③	ワンストップ相談件数	件/年	1400	1359	○	
						④						
34	新しいいき定住促進住宅補助金	2-3. 空き家を有効活用した移住・定住の推進		2-3-(2). 移住・定住の促進	26, 048	①	補助金活用世帯数（U・Iターン）	件/年	31	36	◎	C: 取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討する
						②	補助金活用世帯数（2世帯同居）	件/年	12	16	◎	
						③						
						④						
35	U・Iターン住宅取得住まいる奨励金	2-3. 空き家を有効活用した移住・定住の推進		2-3-(2). 移住・定住の促進	0	①	補助金活用世帯数	世帯/年	-	-	-	A: 引き続き現状の取組を推進する
						②						
						③						
						④						

丹（まごころ）の里創生総合戦略進捗管理一覧（基本目標2：交流人口を増やす）

進捗管理シートNo.	事業名	施策の方向性	交付金の種類	施策の分類	決算額 (千円)	事業における重要業績評価指標（KPI）				
						指標名	単位	数値目標	成果数値	達成度

達成度	
◎ 達成（目標値以上）	15
○ 概ね達成（目標値の80%以上100%未満）	4
△ 未達成（80%未満）	3
- 実績値なし（当該年度の実績値なし）	5
<b>合計</b>	<b>27</b>

今後の方向性	
A：引き続き現状の取組を推進する	8
B：全般的には推進し取組の一部を改善する	5
C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討する	1
D：取組を縮小・中止する	0
<b>合計</b>	<b>14</b>



### 基本目標3 市民みんなで子育てを応援する

～ 安心して子どもを産み、育てられるまち「丹波市」をつくる ～

○若い世代が結婚、出産、子育てに希望がもてるよう各ライフステージにおいて、地域コミュニティや企業など多様な主体がサポートできる環境づくりに取り組む。また、子育てにかかる経済的負担を軽減するとともに妊娠・出産・育児に関する適切な保健指導や情報提供などの充実に取り組む。

#### 【基本目標の重要目標達成指標】

数値目標	項目	基準年の数値		中間KPI			目標値
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
出生数	数値目標	-	520人/年	520人/年	520人/年	520人/年	520人/年
	成果数値	495人/年	442人/年	464人/年			
	達成度	-	○	○			
「地域全体で子育てを支えている」と感じている市民の割合	数値目標	-	増加	増加	増加	増加	増加
	成果数値	47.40%	44.40%	45.90%			
	達成度	-	○	○			

【達成度】◎達成（目標値以上）、○概ね達成（目標値の80%以上100%未満）、△未達成（80%未満）、-実績値なし（当該年度の実績値なし）

#### 【内部検証】

○新しくおせっかいマスターの公認制度が始まり、婚活のための相談や出会いの場が提供された。相談者の願いが叶い、結婚までには時間を要するため、継続した取組が必要である。

○ツープラス1出産祝金については、その効果は極めて限定的で、3人目以降の出産動機には直接つながっていないことから、平成30年度に子育て施策全体の中でより効果的な支援策へ切り替えを行う必要がある。

○子育て世代において、身近に相談できる相手がなく孤立しがちな保護者を、子育てグループなどを通じ、他地域の子育て中の保護者と結び付け、相談や子育て支援に関する知識などを含め、関係機関とも連携して支援を行うことが必要であることから、子育てピアサポーター制度等の各事業の一層の取り組みを推進する必要がある。

○きめ細やかな保育・教育の充実のため、認定こども園等の看護師配置や特別支援保育のコーディネーターや保育士加配などの取組が保護者の満足度の向上につながっていると考えられる。一方で看護師や保育士確保に向けた取組が必要である。

○学校と地域を繋ぐ、学校支援コーディネーターを小学校全校配置し、子ども達の豊かな心やふるさとの愛着や誇りを養う事業等を全小学校区で展開していることが、「地域全体で子育てを支えている」と実感している市民の割合が増加している原因のひとつと考えられ、ふるさと教育に対する地域住民の理解は進んでいると推測できる。

#### 【委員会コメント】

丹（まごころ）の里創生総合戦略進捗管理一覧（基本目標3：市民みんなで子育てを応援する）

進捗管理シートNo.	事業名	施策の方向性	交付金の種類	施策の分類	決算額(千円)	事業における重要業績評価指標 (KPI)					今後の方向性
						指標名	単位	数値目標	成果数値	達成度	
36	結婚相談支援事業（婚活おせっかいマスター登録制度）	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出		3-1-(1). 出会い・結婚支援	656	① 婚活マスターの登録者数	名	15	15	◎	C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討する
						② 婚活マスターを通したお見合い件数	件	15	23	◎	
						③ 婚活マスターを通した婚約組数	件	3	0	△	
						④					
37	婚活マスター協力店登録	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出		3-1-(1). 出会い・結婚支援	0	① 協力店登録数	店舗	50	34	△	C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討する
						② 協力店からの提案事業数	件/年	2	0	△	
						③					
						④					
38	少子化対策民間活動支援事業補助金	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出		3-1-(1). 出会い・結婚支援	558	① 婚活イベント参加者数	名/年	250	120	△	B：全般的には推進し取組の一部を改善する
						② 婚活イベント件数	件/年	3	2	△	
						③ 婚活イベントによるカップル誕生数	組/年	30	19	△	
						④					
39	ツープラス1出産祝金の支給	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出	地方創生先行型交付金（基礎交付）	3-1-(2). 出産・子育て支援	15,801	① 妊娠届出件数	件/年	480	445	○	D：取組を縮小・中止する
						② 出生数	人/年	520	464	○	
						③					
						④					
40	乳幼児・子ども医療費助成事業	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出		3-1-(2). 出産・子育て支援	272,397	① 「就学前の子育て家庭が安心できる相談支援体制が整っている」と思う市民の割合※そう思う+まあそう思うと回答された割合	%	増加	29.2	△	A：引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					
41	母子保健事業	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出		3-1-(2). 出産・子育て支援	53,840	① 「就学前の子育て家庭が安心できる相談支援体制が整っている」と思う市民の割合※そう思う+まあそう思うと回答された割合	%	増加	29.2	△	B：全般的には推進し取組の一部を改善する
						② 妊娠届出総数に占める満11週未満の割合	%	100	92.4	○	
						③					
						④					
42	放課後子どもプラン事業（アフタースクール）	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出		3-1-(2). 出産・子育て支援	316,750	① 「就学前の子育て家庭が安心できる相談支援体制が整っている」と思う市民の割合※そう思う+まあそう思うと回答された割合	%	増加	29.2	△	A：引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					
43	ファミリーサポート事業	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出		3-1-(2). 出産・子育て支援	3,636	① 「就学前の子育て家庭が安心できる相談支援体制が整っている」と思う市民の割合※そう思う+まあそう思うと回答された割合	%	増加	29.2	△	B：全般的には推進し取組の一部を改善する
						②					
						③					
						④					
44	保育料軽減措置	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出		3-1-(2). 出産・子育て支援	12,468	① 「就学前の子育て家庭が安心できる相談支援体制が整っている」と思う市民の割合※そう思う+まあそう思うと回答された割合	%	増加	29.2	△	B：全般的には推進し取組の一部を改善する
						② 園の教育・保育に対する保護者の期待の充足度合	%	90	86	○	
						③					
						④					
45	看護師配置事業	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出	地方創生先行型交付金（基礎交付）	3-1-(2). 出産・子育て支援	13,112	① 病児・病後児保育確保人数（延べ）	人	742	496	△	B：全般的には推進し取組の一部を改善する
						② 認定子ども園予定総数のうち看護師を配置できた子ども園の割合	%	100	38	△	
						③					
						④					
46	特別支援保育事業	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出		3-1-(2). 出産・子育て支援	78,855	① 就学前の教育・保育施設に通う園児の保護者の満足度	%	80以上	86	◎	A：引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					
47	家庭教育講座	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出		3-1-(2). 出産・子育て支援	264	① 講座の受講者数（講座開設定員の80%以上）	%	80以上	41	△	A：引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					
48	保育教諭の処遇改善	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出		3-1-(2). 出産・子育て支援	0	① 市内の民間保育士・保育教諭数(正規)	人/年	-	184	-	A：引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					

丹（まごころ）の里創生総合戦略進捗管理一覧（基本目標3：市民みんなで子育てを応援する）

進捗管理シートNo.	事業名	施策の方向性	交付金の種類	施策の分類	決算額(千円)	事業における重要業績評価指標 (KPI)					今後の方向性
						指標名	単位	数値目標	成果数値	達成度	
49	子育て世代包括支援センターの設置	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出		3-1-(3). 子育てに関する情報発信と支援環境づくり	0	① 「就学前の子育て家庭が安心できる相談支援体制が整っている」と思う市民の割合※そう思う+まあそう思うと回答された割合	%	-	29.2	-	A：引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					
50	利用者支援事業（子育て学習センター）	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出		3-1-(3). 子育てに関する情報発信と支援環境づくり	8,544	① 「就学前の子育て家庭が安心できる相談支援体制が整っている」と思う市民の割合※そう思う+まあそう思うと回答された割合	%	増加	29.2	△	A：引き続き現状の取組を推進する
						② 子育て学習センター自由来館者数	人	39000	46366	◎	
						③					
						④					
51	子育て支援パンフレット作成	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出		3-1-(3). 子育てに関する情報発信と支援環境づくり	432	① 「就学前の子育て家庭が安心できる相談支援体制が整っている」と思う市民の割合※そう思う+まあそう思うと回答された割合	%	増加	29.2	△	B：全般的には推進し取組の一部を改善する
						②					
						③					
						④					
52	丹波市子育てポータルサイト運営	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出	地方創生先行型交付金（基礎交付）	3-1-(3). 子育てに関する情報発信と支援環境づくり	1,425	① ホームページアクセス件数	件/年	19万件以上	157578	○	B：全般的には推進し取組の一部を改善する
						② サイト閲覧者の満足度	%	50%以上	-	-	
						③					
						④					
53	子育てピアサポーター制度	3-1. 結婚、出産、子育てに満足できる暮らしの創出		3-1-(3). 子育てに関する情報発信と支援環境づくり	0	① サポーター登録者数	人	-	-	-	A：引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					
54	ワーク・ライフ・バランスを推進する企業への優遇支援事業	3-2. ワーク・ライフ・バランスの推進		3-2-(1). ワーク・ライフ・バランスの推進	152	① 「仕事と生活のバランス（ワークライフバランス）が取れている」と思う市民の割合※そう思う+まあそう思うと回答された割合	%	-	-	-	A：引き続き現状の取組を推進する
						② 女性（15～64才）の就業率	%	-	-	-	
						③					
						④					
55	企業における女性の活躍支援事業	3-2. ワーク・ライフ・バランスの推進		3-2-(1). ワーク・ライフ・バランスの推進	152	① 育児介護と仕事の両立に積極的な企業への支援数（国県の支援制度を活用した企業数）	社/年	15	5	△	A：引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					
56	地域と連携した学校の仕組みづくり	3-3. 子どもが地域の魅力を学ばしめかけづくり		3-3-(1). 子どもが地域の魅力を学ばしめかけづくり	505	① 「たんば型学校運営協議会」制度の導入数	校	-	-	-	A：引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					
57	たんばふるさと学	3-3. 子どもが地域の魅力を学ばしめかけづくり		3-3-(1). 子どもが地域の魅力を学ばしめかけづくり	959	① 学校の授業においてフレッド・アイチャーなど、指導に携わった地域住民の人数	人	1105	1580	◎	A：引き続き現状の取組を推進する
						② 住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	%	80	78	○	
						③					
						④					
58	平成たんば塾	3-3. 子どもが地域の魅力を学ばしめかけづくり		3-3-(1). 子どもが地域の魅力を学ばしめかけづくり	995	① 平成たんば塾の実施小学校校区数	校区	25	25	◎	A：引き続き現状の取組を推進する
						② 「地域全体で子育てを支えている」と感じている市民の割合※そう思う+まあそう思うと回答された市民の割合	%	増加	45.9	△	
						③					
						④					
59	ふるさと食育推進事業	3-3. 子どもが地域の魅力を学ばしめかけづくり		3-3-(1). 子どもが地域の魅力を学ばしめかけづくり	1,126	① 学校における食育授業の開催回数（小中高）	回/年	50	45	○	A：引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					

達成度	
◎ 達成（目標値以上）	6
○ 概ね達成（目標値の80%以上100%未満）	7
△ 未達成（80%未満）	18
- 実績値なし（当該年度の実績値なし）	7
<b>合計</b>	<b>38</b>

今後の方向性	
A：引き続き現状の取組を推進する	9
B：全般的には推進し取組の一部を改善する	7
C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討する	2
D：取組を縮小・中止する	1
<b>合計</b>	<b>19</b>

## 基本目標4 元気な地域をつくる

～ 活力ある地域コミュニティを育て、市民がいきいきと暮らすまちをつくる ～

○生涯学習活動や市民活動、地域づくり事業など、市民や市民団体、NPO法人が主体となった交流や人材育成の拠点並びに男女共同参画社会の実現に向けた活動拠点となる「たんば市民プラザ（仮称）」の設置に取り組む。また、市民一人一人が健康で、質と満足感の高い生活を送ることができる環境を整備するとともに、人口が減少する中で地域内のつながりや取り組みを支援し、力強いコミュニティの形成を目指していく。

### 【基本目標の重要目標達成指標】

数値目標	項目	基準年の数値		中間KPI			目標値
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
「日々のしごと（農作業・家事・育児等含む）にやりがいや充実感がある」と感じている市民の割合	数値目標	-	-	増加	増加	増加	増加
	成果数値	-	60.60%	63.80%			
	達成度	-	-	◎			
「自治会・小学校区は、地域活動が活発化している」と感じている市民の割合（「そう思う」と「まあそう思う」の計）	数値目標	-	増加	増加	増加	増加	増加
	成果数値	36.70%	40.10%	40.90%			
	達成度	-	◎	◎			

【達成度】◎達成（目標値以上）、○概ね達成（目標値の80%以上100%未満）、△未達成（80%未満）、-実績値なし（当該年度の実績値なし）

### 【内部検証】

○新たに「医療・健康・福祉・介護分野のICT利活用事業」の開始により、予防接種誤り等の防止や効率的な情報連携によるサービスの向上を図っている。メールアドレスの登録者数が平成29年3月末で2,300人となっており、市民が健康で質の高い生活を送るためには更なる利用率の増加に取り組む必要がある。

○「居場所」利用者が一人でも多く社会復帰できるよう、利用者に寄り添い関係部署と円滑に連携し幅広い支援を行う必要がある。

○手話施策推進方針の策定やイベントの周知・推進・啓発活動を障がい者参加型で実施し、障がい者理解を深めることにつながった。次期障がい者基本計画等は、国・県の動向を見ながら策定する必要がある。

○基本目標の重要目標達成指標はどちらも増加しており、目標値を達成している。多様なニーズ、複雑な地域課題に対応するためには、行政だけでなく、地域住民をはじめとした様々な主体が持てる力を十分に発揮することができる地域づくりが必要であり、生涯学習や地域づくりなどの市民活動が活発に行われ、地域コミュニティの担い手である自治会や自治協議会機能の維持、向上に取り組む必要がある。

### 【委員会コメント】

丹（まごころ）の里創生総合戦略進捗管理一覧（基本目標4：元気な地域をつくる）

進捗管理シートNo.	事業名	施策の方向性	交付金の種類	施策の分類	決算額(千円)	事業における重要業績評価指標 (KPI)					今後の方向性
						指標名	単位	数値目標	成果数値	達成度	
60	健康寿命日本一の取り組み	4-1.健康で生きがいのもてる人づくりの推進		4-1-(1).健康で生きがいのもてる人づくりの推進	70,517	① 健康寿命	歳	男性79.5 女性84.1	男性77.35 女性83.33	-	A:引き続き現状の取組を推進する
						② 肺がん検診受診人数(40～69歳まで)	人	4327	3530	○	
						③ 健康教室受講者数	人	4200	4509	◎	
						④					
61	ぐっすりすやすや運動の推進	4-1.健康で生きがいのもてる人づくりの推進		4-1-(1).健康で生きがいのもてる人づくりの推進	1,513	① 睡眠不足を感じる者の割合(丹波市国保加入者特定健診受診者)	%	19.1	32.1	△	A:引き続き現状の取組を推進する
						② ゲートキーパー研修受講終了者数	人	700	879	◎	
						③					
						④					
62	TAMBA地域づくり大学	4-1.健康で生きがいのもてる人づくりの推進		4-1-(1).健康で生きがいのもてる人づくりの推進	5,938	① 「学びの活動で身につけた知識や技能を生かしたい」と思う市民の割合	%	32	25	△	C:取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討する
						②					
						③					
						④					
63	TAMBAシニアアカレッジ	4-1.健康で生きがいのもてる人づくりの推進		4-1-(1).健康で生きがいのもてる人づくりの推進	855	① 「高齢者が積極的に地域での活動に参加できている」と感じている市民の割合※「そう思う+まあそう思う」と回答された市民の割合	%	60	51	○	B:全般的には推進し取組の一部を改善する
						②					
						③					
						④					
64	シルバー人材センター補助事業	4-1.健康で生きがいのもてる人づくりの推進		4-1-(1).健康で生きがいのもてる人づくりの推進	10,160	① 会員数	人	878	748	○	A:引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					
65	医療・健康・福祉・介護分野のICT活用事業	4-1.健康で生きがいのもてる人づくりの推進	地方創生加速化交付金	4-1-(1).健康で生きがいのもてる人づくりの推進	59,827	① ネットワーク参加事業者数	件	38	38	◎	A:引き続き現状の取組を推進する
						② ネットワーク利用者の満足度	%	80	-	-	
						③					
						④					
66	障がい者への就労・社会参加支援	4-1.健康で生きがいのもてる人づくりの推進		4-1-(1).健康で生きがいのもてる人づくりの推進	1,136,748	① ちゃれんじスペースの売上高	千円/年	1700	1772	◎	A:引き続き現状の取組を推進する
						② 「住んでいる地域は、障がいのある人が暮らしやすい環境が整っている」と感じている人の割合※「そう思う+まあそう思う」と回答された市民の割合	%	増加	21.4	◎	
						③					
						④					
67	就職困難者へのハローワークとの一体的支援	4-1.健康で生きがいのもてる人づくりの推進		4-1-(1).健康で生きがいのもてる人づくりの推進	1	① 就職困難者の新規就職者数	件/年	22	26	◎	B:全般的には推進し取組の一部を改善する
						②					
						③					
						④					
68	子ども・若者育成支援事業	4-1.健康で生きがいのもてる人づくりの推進	地方創生加速化交付金	4-1-(1).健康で生きがいのもてる人づくりの推進	6,415	① 相談件数	件/年	200	224	◎	A:引き続き現状の取組を推進する
						② 居場所活用件数	件/年	100	111	◎	
						③					
						④					
69	地域づくり交付金制度	4-2.豊かな地域力の向上によるまちづくりの推進		4-2-(1).豊かな地域力の向上によるまちづくりの推進	162,799	① 「自治会・小学校区は、地域活動が活発化している」と感じる市民の割合※「そう思う+まあそう思う」と回答された市民の割合	%	増加	40.9	◎	A:引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					
70	よろずおせっかい相談所及びよろずおせっかい支援センター(仮称)の開設・運営	4-2.豊かな地域力の向上によるまちづくりの推進		4-2-(1).豊かな地域力の向上によるまちづくりの推進	12,586	① よろずおせっかい相談所開設箇所数	か所	-	-	-	A:引き続き現状の取組を推進する
						② 支線センター経由の生活困りごと相談件数	件	-	-	-	
						③ 「住んでいる地域は生活課題について、気軽に相談できる環境が整っている」と感じている市民の割合※「そう思う+まあそう思う」と回答された市民の割合	%	-	28.9	-	
						④					
71	地域福祉支線パートナーシップ事業	4-2.豊かな地域力の向上によるまちづくりの推進		4-2-(1).豊かな地域力の向上によるまちづくりの推進	0	① 応募団体数	団体	-	-	-	D:取組を縮小・中止する
						② 事業継続団体数	団体	-	-	-	
						③					
						④					
72	市民活動拠点施設の設置(仮称:たんば市民プラザ)	4-2.豊かな地域力の向上によるまちづくりの推進		4-2-(1).豊かな地域力の向上によるまちづくりの推進	468	① 「学びの活動で身につけた知識や技能を生かしたい」と思う市民の割合	%	32	25	△	A:引き続き現状の取組を推進する
						②					
						③					
						④					

丹（まごころ）の里創生総合戦略進捗管理一覧（基本目標4：元気な地域をつくる）

進捗管理シートNo.	事業名	施策の方向性	交付金の種類	施策の分類	決算額 (千円)	事業における重要業績評価指標 (KPI)					
						指標名	単位	数値目標	成果数値	達成度	今後の方向性
						①					
						②					
						③					
						④					

達成度	
◎ 達成（目標値以上）	9
○ 概ね達成（目標値の80%以上100%未満）	3
△ 未達成（80%未満）	3
- 実績値なし（当該年度の実績値なし）	7
<b>合計</b>	<b>22</b>

今後の方向性	
A：引き続き現状の取組を推進する	9
B：全般的には推進し取組の一部を改善する	2
C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討する	1
D：取組を縮小・中止する	1
<b>合計</b>	<b>13</b>